

「現場から見た万引犯罪の実情」

株式会社ソフマップ 管理本部 総務部

大阪総務課 防犯担当 課長 簾 健一氏

1. 万引被害とは：

仕入27、000円、売価30、000の物1ヶ万引きされたとすると、被害額は30、000円を10ヶ売る+この10ヶ売るためのコストがかかる。まず、このことを理解せよ。

2. 今、店内では何が起きているか：

偽造カード、盗撮・・・ネット上で流され、店の信用落ちる。

万引・・・人種・年齢等多様化

3. 万引：

最近の特徴・・・罪悪感は全くない。開き直る。マズッタ程度。

目的の変化・・・換金目的・・・し易い環境が整った・・・リサイクル店・中古買取店
インターネットの悪用

働いてない人が多い＝働くより金になる・・・本やゲームソフトの被害多い

悪質化・・・もはや万引とは言えない・・・強奪・強盗・・・武装している（催涙スプレー、刃物等）・・・怪我多発

EASがあるからやらない・・・20%?・・・もっと良いEASを！

対策はEASの導入だけではない、治療より予防である。なんでも盗まれると認識し、盗まれないために、あらゆる手を尽くすことが重要であり、小売業の責任は大である。盗難被害は、ゴキブリと同じである、あらわれた被害の30倍はあると認識すべし。捕まえたときはどうする。必ず警察に行く。300円でも躊躇しない。

警備員のコスト：つかまえて人数・金額ではない。常習者は何回でも行う。捕まえることが重要。警備員がそこにいることで、店に入っていない犯行者が多い。

4. 社内不正（万引以上かも）

お店は、社員に対しては無防備である。しかも、見つけにくい、常習化する。

徹底的に潰すことが重要である。損害はきっちり回収するという、強い意思が必要である。

5. JEASに対する要望

小売業はEASのメーカー・販社を選ぶ目を持つことが重要であるが、EASを作り販売している人は、買って使う人の立場になっているか。

ソフマップはカスタムを求めるが、それをやってくれる会社とした付き合い合わない方針である。

等々、現場で体感されていることを激しく、厳しく訴えていただきました。